

主催：徳島県受託事業「平成24年度ひきこもり支援対策調査研究事業」
共催：徳島大学認知行動療法勉強会

認知行動療法による 児童・思春期の生きる力の育成

基調講演では、児童・思春期における認知行動療法の第一人者であられる嶋田洋徳先生をお迎えして、認知行動療法による児童・思春期の生きる力の育成の可能性についてご講演を頂きます。

実践報告では、認知行動療法によるひきこもりの家族支援の実際について境 泉洋氏が報告を行い、それを踏まえて嶋田洋徳先生のコメントをいただきます。

開催日：2012年12月8日（土）

場 所：徳島大学総合科学部 1号館南側 3階309講義室

12時30分 開場

13時00分 開会の挨拶 佐藤健二氏（徳島大学大学院S A S研究部教授）

13時05分～14時30分 講演 児童期・青年期の生きる力の育成に向けて
—認知行動療法的観点からのアプローチ—
講師 嶋田洋徳氏（早稲田大学人間科学学術院教授）

14時45分～16時00分 実践報告 ひきこもりの家族支援
—認知行動療法の応用—
報告者 境 泉洋氏（徳島大学大学院S A S研究部准教授）
コメンテーター 嶋田洋徳氏

16時00分 閉会の挨拶

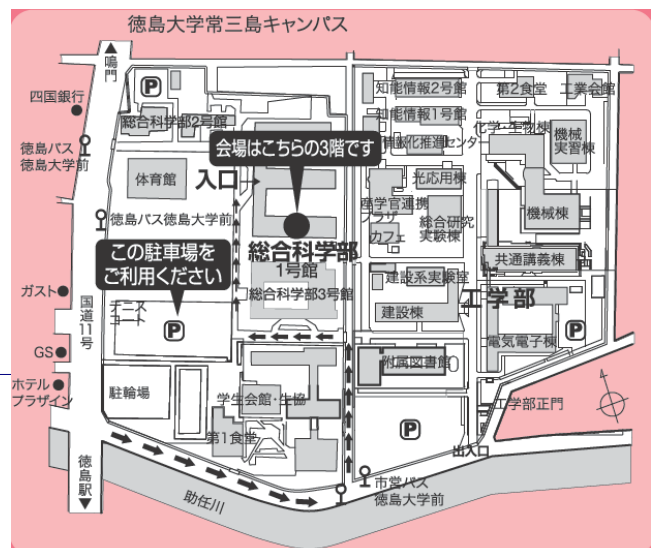
嶋田洋徳先生のご略歴

早稲田大学人間科学学術院教授。早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。博士（人間科学）、臨床心理士。広島大学総合科学部、新潟大学人文学部を経て、2008年より現職。専門は、認知行動療法、行動臨床心理学。日本行動療法学会常任理事、日本ストレスマネジメント学会理事、日本健康心理学会理事、警視庁警備心理学研究会委員などを務める。認知行動療法に関する基礎研究に携わりながら、教育・発達領域から、医療・産業領域、司法・矯正領域まで、幅広い領域で認知行動療法に基づく心理臨床実践を行っている。著書には、「学校、職場、地域におけるストレスマネジメント実践マニュアル」（北大路書房）など多数がある。

- ・参加費は無料です。
- ・認知行動療法、ひきこもりをはじめとした思春期・青年期の心理的問題に関心のある方であれば、どなたでも参加できます。
- ・事前のお申し込みは必要ありません。

問い合わせは下記連絡先へ

〒770-8502
徳島市南常三島町1-1
徳島大学総合科学部 3号館3階南棟3S03
臨床コミュニティ心理学研究室(境 泉洋)
電話・ファックス：088-656-7191 E-mail：t.hikikomori@gmail.com



本講演会は、徳島県受託事業「平成24年度ひきこもり支援対策調査研究事業」の助成を受けて実施されています。